

学修の成果に係る評価の基準について

(2023 年度)

【学修成果に係る評価の基準の概要】

授業科目の成績評価及び単位の授与については、学則（大学名省略。以下同じ。）及び履修規程等の規定に基づき、厳格かつ適正に行っている。

本学では「授業科目の履修は、単位制とし、履修した授業科目に対しては、試験の上、単位を与える」（学則第 14 条）ことを原則とし、試験は「定期試験及び定期試験以外の方法（授業時に行う平常試験、レポートその他第 10 条に定める評価方法）」（履修規程第 15 条）により行っている。

具体的な成績評価の方法は「筆記・口述試験、論文、レポート、実験、実習、実技及び授業参加度等を基に行」（履修規程第 10 条第 1 項）い、100 点満点で 60 点以上を合格とする（学則第 14 条）。成績評価の基準は下表のとおりである（履修規程第 10 条第 3 項・第 4 項）。

成績評点等	評価	評価（英語表記）
90点以上	秀	A
80点～89点	優	B
70点～79点	良	C
60点～69点	可	D
本学学則第16条、第17条及び第17条の2の規定により、本学以外での学修を認定した授業科目	認	T
59点以下	不可	F
評価なし（試験欠席、出席時数不足等）	/	
本学学則第14条第2項ただし書きの規定により100点を満点とする評価が難しいものとして別に定める授業科目（合格の場合）	合格	P

これらの規定を踏まえ、個々の授業科目においては、シラバスに記載必須として「評価方法・評価基準」の項目を設け、当該授業科目の教育目標を基に適切に設定した基準を具体的に明示することとしている。記載にあたっては、「総合的に評価する」などの記載は原則として不可とし、「定期試験（50%）、小テスト・レポート（30%）、授業参加度（20%）」のように明確化している。また、単に出席したことだけをもって評価する「出席点」は認めていない。

【GPA について】

GPA（Grade Point Average）とは、成績評価に応じた得点＝GP（Grade Point、0～4の5段階）を履修登録総単位数で割って1単位あたりの平均値を出したもので、履修指導や留学・奨学金等の選考などに使われる。大学によって得点や平均の算出方法が異なるが、本学では以下のとおり（小数点以下第3位を切り捨てる）とする。

4×「秀」の修得単位数＋3×「優」の修得単位数＋2×「良」の修得単位数＋1×「可」の修得単位数

総履修登録単位数（「不可」「／」の単位数を含む）

不合格科目や途中で放棄した科目は GP「0」となり、GPA 評価が下がるので、履修登録に際しては細心の注意を払うこと。学部が特に必要と認める場合を除き、一度合格した科目は再履修できない。

卒業のために必要な単位とならない授業科目、学期途中で履修中止を届出た授業科目の GPA は対象としない。再履修した場合は最新の成績評価だけを対象とする。